

2012～2013年度



国際ロータリー会長 田中 作次 (日本・埼玉・八潮RC)

RIテーマ Peace Through Service

奉仕を通じて平和を

第2520地区ガバナー 小野寺 則雄 (二戸RC)

第6分区ガバナー補佐 日野 勝博 (塩釜東RC)

第41代会長 佐藤 良一

副会長 丹野 五郎

幹事 宮城 順

副幹事 菅野 智

会長エレクト 横田 芳博

会計 林 智

監事 阿部 祝夫

会場監督 大場 裕之

直前会長 加藤 千明

クラブ奉仕委員長 穀田 満

職業奉仕委員長 阿部 新康

社会奉仕委員長 佐藤 仁一郎

国際奉仕委員長 菅野 智

新世代委員長 鈴木 誠

理事 伊東 清一



国際ロータリー第2520地区 小野寺則雄ガバナー公式訪問 2012年9月5日 多賀城ロータリークラブ

未曾有の東日本大震災発生から年度末までの短い期間に、経験のない困難な舵取りをしてこられた大場裕之元会長。そんな中で進めた40周年記念事業に誠心誠意取り組んでこられた加藤千明直前会長。そして、復旧へ一丸となり、地域活性化のためご努力頂いてきた会員の皆様に、まずは最大級の敬意を表します。

さて、その40周年を通過し、新たな50年目へのスタートの年となりましたが、一般的に、組織体の中では周年で一区切り、との意識も同居したような年となることは、やむを得ないことと思われます。実際、チャーターメンバーを始め、クラブでの経歴の長い会員が相次いで退会するという残念な減少が見られたのは寂しいことでした。

そんな中、引き継ぐ私達が進むべき目標は何か。静かに周りを見渡してみますと、いまして少し落ち着きを取り戻してきたこの地域で、多賀城ロータリークラブが、今後の10年へ向け、何を考え、何を行動して行けばよいのか。会長を務める一年は、そんな次代を描く年としてはどうかと思えてきました。

多賀城ロータリークラブとして、今後の益々の発展の為、基本固めを再考し、無理のない運営で地域社会への貢献、奉仕して行けますよう、進めて行きたいとの思いから、会員間、及び会員家族との親睦を重視し、シンプルな会員数に見合った組織、無理のない運営を旨にと考えましたが、この一年は、震災支援に対する復興状況報告、周年事業への返礼にと宮城幹事とともに支援、応援していただいた多くのクラブに始めて訪問させていただくこととなり、各地の他クラブの活動を目にし、我がクラブ、活動内容を改めて見直す機会を得ることができたことは、大変勉強になりました。

そのような震災支援の絆の輪の中で機会を与えられた「甲子園で少年野球を」(新世代特別プロジェクト)は、私共にとって最高の贈り物となりました。実施に当たっては、子供達が対象ですので細心の目配りが必要となりましたが、指導者、保護者の皆さんの最大限のご協力もあって、子供達に大きな夢の実現をしていただくことができたのは、私共の幸せとなりました。